



会報 No.141 令和2年10月号

令和2年8月26日

八王子市長 石森 孝志 様

一般社団法人八王子市私立保育園協会
会長 宮崎 豊彦

令和3年度 八王子市保育政策提言書

八王子市私立保育園協会に対しまして、日頃よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年10月より、幼児教育・保育の無償化が始まり、副食分の給食費を各園が直接徴収することになりました。八王子市の担当課との話し合いの中で公私立保育園共に同額の設定となり、公立園との調整を含め情報提供等、いろいろとご配慮をいただきありがとうございました。お陰様で大きな混乱もなく移行できました。また、八王子市独自の給食費（副食分）免除基準を設け減免対象者を広げたことは、子育てしやすいまち八王子が、未来を担う子ども達のことを考え取り組んでいただいたものと深く感謝申し上げます。

今年は2月から新型コロナウイルス感染症が話題になり始め、頻りにニュースで流れるようになりました。年度末には、新型コロナウイルスへの感染症対策が急務となり、行政との連携の重要性が改めてクローズアップされました。そして、保育園も行政の要請により保護者に登園自粛をお願いする事態になりました。国が緊急事態宣言を発出し、八王子市もそれに対応されその結果、保育園への登園児童は公務員（警察・消防等）や病院関係者など必要不可欠な家庭の児童の受け入れになり感染リスクが軽減されると共に、各保育園でも在宅勤務等の対応ができ感染リスクを軽減することができました。6月になり学校は再開され保育園も通常の登園にもどりましたが、7月からまた感染者が増え始め、月末には東京都は第2波の状態になっていると警戒を強めています。八王子市も感染者が増え始め、7月末現在3園の保育園で職員の感染者が確認されています。今年度末まで長期にわたり対策を考えなくてはならない事態になっていますので、行政と保育園協会が一体となり協力して対応ができるよう今後共よろしく願いいたします。

昨年度より学校では、保育園・幼稚園との緊密な連携の取組でできたスタートカリキュラムが始まっています。乳幼児期の教育・保育の質の向上が重点政策になっている保育園では、幼児教育・保育センター構想が掲げられていますが、具体的に何を行っていくのか、また感染症対策を含めた「新しい生活様式」の時代に入り、人と人とのかかわり方が変わってきて、コミュニケーションの取り方をどのように行っていくかなど、行政との政策会議が重要な役割を担っております。すでに基本計画「八王子ビジョン2022」や「第3次八王子市子ども育成計画」を進めていますが、コロナウイルスの影響による見直しが必要になってくるかもしれません。これからの時代の方向性を決めていくのに、石森市長様との懇談会や市議会議員の皆様との懇談会を行い、安心して子どもを産み育てることができる、地域のコミュニティーを形成して豊かなまちづくりに寄与できるように努めて参りたいと考えております。このたびの私どもの保育政策提言につきまして、更なる保育園の改善向上のためご検討くださいますよう、よろしく願いいたします。

令和3年度 提言事項

〔提言1〕 予算関連要望事項

1. 保育所職員の処遇改善について
2. 事務職員雇用費
3. 嘱託医料の増額
4. 年末保育補助の予算
5. 協会運営費補助
6. 法人・施設の機能強化
7. 宿舍借り上げ支援事業継続の要望

1. 保育所職員の処遇改善について

①八王子独自の配置基準を更に充実して下さい。

八王子市は4・5歳児の配置を国が定めている30：1から市独自に27：1という基準を設けています。更には新制度の切り替え時においても、全国に先駆けいち早く3歳児を15：1にさせていただきました。これは八王子市の保育・子育てに対する意識の高さを示すものであり、私たちの「子どもたちの育ちを大切にしたい」という願いとも合致しております。

このような取り組みは社会貢献を基本に働く保育士の「労働意欲」にも直結しているところです。保育士の処遇改善は給与の引き上げと共に、職員間で話しあったり、園内研修をしたりする時間の確保も必要です。今年度より学習指導要領が改訂され、教育は「主体的・対話的で深い学び」を実践する方向へシフトしましたが、幼児教育も同様です。そのためには保育士の労働環境を改善し、市が掲げている保育の質を向上させるための政策を共に考えていきたいと思っております。

	国	都	市	(実際の園での職員配置例)
0歳児	3対1	⇒	⇒	9人で3人+8時間パート1名
1歳児	6対1	⇒	5対1	12人で2人+8時間パート1名
2歳児	6対1	⇒	⇒	12人で2人+8時間パート1名
3歳児	20対1	⇒	15対1	15人で1人+8時間パート1名
4歳児	30対1	⇒	27対1	25人で1人+8時間パート1名
5歳児	30対1	⇒	27対1	25人で1人+8時間パート1名
	充実保育士2～3人+パート保育士			充実保育士2人

注) 現行配置は園によって多少のばらつきがあります。(障がい児担当含む)

②キャリアアップ研修への支援について

平成29年度より、キャリアアップに対する補助金を頂けることになりましたが、市としても、そのための加算が継続されるようお願いいたします。協会では平成30年度より東京都の指定を得て東京都保育士等キャリアアップ研修を始めました。令和2年度はコロナの影響もあり思うような開催ができませんが、機会を見ながらこれからも保育者等の処遇改善に対しては積極的に取り組み、魅力ある職場環境やその質の向上に取り組むたいと考えております。引き続きキャリアアップ研修や園内のキャリアパスの構築に対してのご支援をお願いいたします。

2. 事務職員雇用費

請求事務の簡略化は徐々に進んできましたが、令和元年10月より給食副食費の徴収が新たに加わりました。これまで上乗せ徴収を行ってこなかった保育園にとっては、確認のための時間や、清算書、請求書、申請書等の業務が急に増えました。

その他、短時間利用者への対応や広域入所への対応、地域活動による窓口開設、各関係機関との連携、日々の金銭の管理等保育園の運営にかかわる事務量などは増えこそすれ、減ることはありません。

せん。さらには個人情報保護への配慮が重要になっている現状ではパート職員がその職務を負うことは非常に難しい状況です。そこで、国基準の事務職員雇上費に加え常勤の事務職員を配置できるように、その経費補助を検討していただきたくお願いいたします。

3. 嘱託医料の増額

現在、市の嘱託医、歯科医手当は年間11万円を頂いておりますが、保育園で嘱託医、嘱託歯科医との契約改定に伴い、公立園の契約料金が基本にされるケースも増え、各園の契約料金が増加してきました。その額は現在100人規模の園で50万円を超える金額となっております。今後定期健康診断、感染症対策、アレルギー児対応、障がい児保育、事故対応、病気等の相談のことを考えると、ますます嘱託医との連携は重要になってきました。ぜひこれから嘱託医との連携内容に見合った契約ができますようご増額を要望いたします。

4. 年末保育補助の予算

年末保育は公立保育園以外、私立保育園の中でも保護者の要望に応え、自主的に実施している園があります。東京都は保育内容によって補助金を上乘せする制度に変わってまいりました。八王子市も自助努力で他園の園児も含めた年末保育をしようとしている園に対しての補助をお願いいたします。

5. 協会運営費補助

一般社団法人八王子市私立保育園協会は会員園の増加に伴い、その連携、研修、会議等をさらに充実させる必要に迫られ、平成29年11月20日に法人化をいたしました。さらには新型コロナウイルス感染症への対応で、新しい形での会議や研修なども充実させる必要が生まれてきました。それは事務所を活用した動画撮影や研修の準備、講師との連携、リモート研修の準備など、これにかかる事務職員に対する役割の増大化です。都ではこうしたキャリアアップ研修にかかる人件費等の支出計上が認められております。八王子市も研修に対する人件費やアウトソーシング等に対する経費等を研修費として認めてもらえるようお願いいたします。八王子市からの補助があることによって運営の透明化や公立園への研修提供、合同研修の開催、医師会や学校、地域、他保育団体等との連携が今以上に進みます。このことは市が構想している幼児教育・保育センターの運営等に対する活動にも寄与できるものと思います。

6. 法人・施設の機能強化

東京都は、全国的に見ても補助費の額は多い地域ですが、社会福祉法人改革に伴い法人の役割はますます重要なものになると共に、その公共性、透明性なども求められています。そのため、コンサルを入れたり会計事務所との契約、更には理事や評議員個人に対する責任問題も発生するため保険への加入等への動きも求められています。このような現状の中で建て替えやメンテナンス等のことを考えると、やはり法人・施設の機能強化のため、必要経費を少しずつ蓄えていく必要性を感じます。こうした資金については施設間の流用も可能となっておりますが、それでは子どもや職員の処遇に影響を及ぼしかねません。法人の機能強化については市独自の補助金が非常に重要です。数十年も固定されたままの現状をご理解いただき一層のご支援をいただけますようお願いいたします。

法人・施設の機能強化推進費

現 状 (20年以上固定)	要 望 額
月 額 8 0 0 円/人	月 額 1 , 0 0 0 円

法人運営費

現 状	要 望 額
月 額 2 , 5 0 0 円/園	月 額 5 , 0 0 0 円

7. 宿舍借り上げ支援事業継続の要望

八王子市においては、保育施設に勤務している保育士等の不足が問題になっている中、八王子市で保育士不足を解消できるよう、また、保育士が安心して働けるよう、今後も東京都と同様な宿舍借り上げ支援事業を継続していただけるよう要望いたします。

〔提言2〕非予算関連要望事項

1. 指定管理の公立保育園の民営化に関する要望
2. 各ブロックに最低一つの公立保育園設置を要望
3. 保健センター・地域子ども家庭支援センター・教育センター等との機能強化と連携会議

1. 指定管理の公立保育園の民営化に関する要望

一般社団法人八王子市私立保育園協会では、公立保育園の一部民営化については賛成をしてまいりましたが、運営者が5年10年で変わるかもしれないという指定管理者制度の中では、地域の中で信頼関係を築き、安心感の中で子どもが育つ環境を保証するという「子どもへの責任」を果たすことができません。各法人が責任を持って運営するためにも民設民営という形での切り替えを切に要望いたします。

2. 各ブロックに最低一つの公立保育園設置を要望

地域子ども家庭支援センターは虐待だけでなく、地域の子育てについての相談を受けたり、子育て情報の提供、子育て講座の開催、養育家庭への支援等を行っており、今後ますますその重要性は増していくと思います。しかし、第4ブロックにおいては公立保育園が一か所も設置されていません。市の構想の中にも5ブロックで子育て支援をすすめるのでしたら、公立保育園の民間委託をすすめながら、第4ブロックにも公立保育園を移設していただきますよう要望いたします。

3. 保健センター・地域子ども家庭支援センター・教育センター等との機能強化と連携会議

八王子市は全国に先駆け妊娠期からの育児支援（ネウボラ）をスタートさせましたが、乳児への虐待死も増加の一途をたどっている現状や障がい児への支援、インクルーシブな社会の構築などを考えると、この方向性は間違いありません。しかし、対象となる家庭を個別に支援するという点では、スタッフ不足を感じます。それは、1歳半検診や3歳児検診を集団で行うシステムをみても明らかです。ここでの丁寧な検診がすすめばCOVID19のような感染症が発生しても変わらず支援ができますし、ここでの情報は保育園や幼稚園等への接続、小学校へ就学に対しても大きな役割を果たすことができるはずです。

ここに、幼児教育・保育センターの機能が加わると更に子育てしやすい町へ向けた市独自の取り組みになると思いますので、共に進めていきたいと考えています。

編 集 後 記

秋の運動会を、感染症対策をしつつ例年とは異なる形で行った園もあれば、中止をした園もあったでしょう。Withコロナという新しい生活様式の中で、日々の保育や行事等を試行する日々が続いています。気が付けば、日に日に寒さが増す季節となっています。これから冬を迎え、インフルエンザも気にしつつ感染症対策を続けなければなりません。世の中は様々な「Go Toキャンペーン」により経済活動が行われる中、感染リスクを減らす目的で、外食も旅行も控えている私は、全くと言っていいほど「Go To」の恩恵を受けていませんが、いつになったら、この自粛を解除したらいいのか自問自答中です。

(千原)